

わけ 議会だより

第52号



3月議会定例会

新議員決まる 2
議会の構成 3
次のことが決まりました 4

本会議における質疑と答弁 8
委員会からの報告 12
一般質問 ～町政をただす～ 16

町民の負託と信頼に応えてまいります

任期満了に伴う町議会議員選挙が
2月17日に行われ、12名の新議員が
決まりました。



わかたび
若旅 啓太

やまもと
山本 稔

よりの
従野 勝

すえき
居樹 豊

かんざき
神崎 良一

おざき
尾崎 智美

まんだい
万代 哲央

とうせ
当瀬 万享

議長
安東 哲矢

副議長
山本 泰正

にしなか
西中 純一

おおた
太田 啓補

議会の構成

議長 安東 哲矢



副議長 山本 泰正



総務文教常任委員会

総務部、会計課、教育委員会、選挙管理委員会等に関することについて、議案審議及び調査研究を行います。

- 委員長 万代 哲央
副委員長 若旅 啓太
委員 当瀬 万享
委員 山本 泰正
委員 太田 啓補
委員 尾崎 智美

常任委員会

厚生産業常任委員会

民生福祉部、産業建設部、農業委員会等に関することについて、議案審議及び調査研究を行います。

- 委員長 居樹 豊
副委員長 西中 純一
委員 安東 哲矢
委員 山本 稔
委員 神崎 良一
委員 從野 勝

監査委員

議会選出委員

当瀬 万享

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

和気鵜飼谷温泉に関することについて、議案審議及び調査研究を行います。

- 委員長 居樹 豊
副委員長 山本 稔
委員 10名

特別委員会

防災都市公園整備事業特別委員会

防災都市公園整備に関することについて、議案審議及び調査研究を行います。

- 委員長 万代 哲央
副委員長 若旅 啓太
委員 10名

議会運営委員会

- 委員長 山本 稔
副委員長 西中 純一
委員 当瀬 万享
委員 山本 泰正
委員 万代 哲央
委員 居樹 豊

議会広報編集委員会

- 委員長 若旅 啓太
副委員長 山本 稔
委員 西中 純一
委員 神崎 良一
委員 太田 啓補
委員 尾崎 智美

組合議会議員

和気老人ホーム

組合議会議員

- 安東 哲矢
当瀬 万享
神崎 良一
尾崎 智美

構成市町議員数

- 和気町 4人
備前市 4人
赤磐市 2人

和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合

議会議員

- 安東 哲矢
万代 哲央

構成市町議員数

- 和気町 2人
赤磐市 4人

和気北部衛生施設

組合議会議員

- 安東 哲矢
西中 純一
居樹 豊

構成市町議員数

- 和気町 3人
備前市 3人
赤磐市 3人

東備農業共済事務

組合議会議員

※平成31年3月末日をもって解散

- 安東 哲矢
山本 泰正

構成市町議員数

- 和気町 2人
備前市 3人
赤磐市 4人

東備消防組合

議会議員

- 安東 哲矢
若旅 啓太
從野 勝
太田 啓補

構成市町議員数

- 和気町 4人
備前市 11人

議会定例会

平成31年3月11日から22日までの12日間、和気町議会定例会が開催されました。3月議会定例会では、諮問1件、条例13件、補正予算11件、当初予算15件等が原案どおり可決されました。

なお、次のとおり修正議案の動議が提出され、賛成多数で可決されました。

*平成30年度一般会計補正予算（第5号）提出者：西中 純一 議員、万代 哲央 議員

*平成31年度一般会計予算 提出者：居樹 豊 議員、太田 啓補 議員

予算修正

防災都市公園整備事業、ドローン活用推進事業の一部を修正

* 防災都市公園整備事業

《平成30年度 一般会計補正予算（第5号）》

主な内容は、繰越明許費1億2,600万円を削除

《平成31年度 一般会計予算》

主な内容は、工事費、用地測量などの委託料、用地費など総額6億639万円を削除

あわせて、社会資本整備総合交付金（補助金）、地方債など、総額5億7,193万円を削除

* ドローン活用推進事業

《平成31年度 一般会計予算》

検証実験委託料など965万円と地方創生推進交付金（補助金）482万円を削除

平成31年度 主要事業

* 町営バス運行：6,365万円

本年1月から実施していた、町営バスの実証実験を終えて、4月1日からデマンド型乗合タクシーを廃止して、町営バス運行を行う

* 本庁舎、佐伯庁舎改修：6,102万円

両庁舎のトイレの改修及び、排水ポンプ車を収納する車庫の改修を行う

* 情報通信施設拡張：3,025万円

平成22年に整備した光ケーブル網について、光回線使用数が上限に達したため拡張工事を行う

* 和気駅南トイレ整備：1,843万円

JR和気駅南にトイレの整備を行う

* 佐伯グラウンド改修：1,351万円

佐伯グラウンドの外野フェンス、照明施設の修繕を行う

平成30年度一般会計

補正予算(第5号)

提案説明

西中純一議員

修正案の趣旨は1億2600万円繰越明許をさせないということである。この修正により、測量設計費6000万円、土地購入費5935万8000円、鑑定委託料、664万2000円の合計1億2600万円が30年度一般会計予算の不用額になり、他の事業に有効に使えるという結果になる。和気町に無駄に使える予算はないと思う。私は街頭宣伝車で、防災都市公園はやめて、くらし福祉を守る政治に切り替えようと訴えてきたが、このこと(宣伝)が町内の世論を変えた、とある陣営の幹部が言うように、町民の方は防災都市公園反対に大きくかじをきったと思う。

反対討論

神崎良一議員

昨年、私自身も賛成して決めた予算案であり、繰り越す理由も認められる。今年度の事業費となる1億2600万円が来年度に使われるのも合理的な判断である。私たちも賛成した以上はこの事業を何とかしてやりたいと責任は感じていた。

どうすれば町民のために一番になるのかがポイントで、そのために私たちがどれだけ心と知恵を出せるかになる。学び館「サエスタ」、和気ドームそれから体育館といういろいろ大事業が、それぞれの事情の中で造られてきた。赤字の事業もあるが、町民の方には喜んで活用していただいている。

この防災都市公園も皆さんの力とアイデアがあれば、決して無駄金でなく、効果のある事業だ。私はそのために全力を尽くしたい。よってこの修正案に反対する。

賛成討論

万代哲央議員

私は本定例会の一般質問でこの事業の今後の進め方について、4つの条件を執行部に提案した。執行部が今後、土地の購入も含めて、公園づくりを進めるにあたって繰越明許もあり、平成31年度、厳しい時間の制約の中で、一定の民主的な手続、手順を踏んで進めていくのなら協議に応じたいと考えていた。そのために4つの条件を示した。

- ①公募方式で検討委員を選考し、検討委員会を立ち上げること。
- ②用地買収に間に合う期限、実施設計に間に合う期限を設定し、検討委員会をできる限り多く開催すること。
- ③野球もできる総合グラウンド建設という計画自体を白紙に戻して、公園の自身の施設を検討委員会決定すること。
- ④この事業の総事業費の上限を検討委員会で設定すること。

この4条件である。にもかかわらず、私が一般質問したわずか1日しかたない翌日には、4条件のうち1つめである公募方式で検討委員を選考し、検討委員会を立ち上げることがなされないということが答弁で表明されたため、修正案提出、止むなしの考えに至った。

以上が、修正案に賛成する理由である。

平成31年度一般会計

提案説明

居樹 豊議員

本予算に計上されているドローン物流検証実験委託料については、既に国土交通省により実証実験が実施されており、検証結果を踏まえ新規事業として町独自でどうしても継続して行う必要性について十分な説明もなく理解されていない。

次に、防災都市公園事業については、学校跡地委員会の答申は「利用者」と協議を重ねて佐伯グラウンドの利用を促進しながら代替施設も検討願いたい」との内容であったが、代替施設をつくりなさいというものではない。

なお、スポーツ団体などの利用者との協議が全くなされないまま防災都市公園ありきで進めてきたことも問題である。そもそも町民生活にとつてどうしても必要な施設であるとの声は、ほとんど聞こえてこない。

また、予算は、家庭でいう貯金にあたる財政調整基金を2億6500万円も取り崩しての苦しい財政状況にある。

以上のようなことから、ドローン物流検証実験委託事業の一部修正と防災都市公園事業予算を削減する修正案を提出するものである。

反対討論

山本 稔議員

ドローンの実証実験は、買い物難民の問題だけでなく、災害時、孤立した地区への大型ドローンを使っての物資の輸送を前提として国の方でも進めている事業であり、今回農業の分野、鳥獣害分野、その他いろいろな分野のドローンを使つての実証実験でデータを取ろうということである。ドローンは将来大切な事業であり、その先進的な事業を支える実証実験は我が町で積極的にやつていくべきだ。よって修正案には賛成できない。

賛成討論

太田 啓補議員

「防災都市公園整備事業」に係わる予算の削除することは、『防災都市公園』はいらない」という多くの町民の方々の声を反映したものである。町民の声を議会に届け、その想いを行政に反映させることが私の仕事であると思心得ている。

また、「ドローン活用推進事業」についても同様で、ここに至る経緯、委託会社の実態を含め、不透明な事柄が多く、不信感をもつ町民が多くいる。今後3、4年は検証実験を進めて行くというが、和気町が独自に購入するドローンもあり、職員4人も免許を取得しているの、最適な方策を模索することも肝要である。

請願

○「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書

岡山市北区下伊福西町1-53

岡山県社会保険推進協議会

会長 三上雅弘

審議結果…趣旨採択

○日米地位協定の見直しを求める意見書に関する請願

備前市木谷152-1

和気・備前革新懇

代表 梶藤 澄男

審議結果…趣旨採択



賛否の状況

※賛否が分かれた議案のみ掲載

議案等の内容	尾崎 智美	太田 啓補	従野 勝	若旅 啓太	神崎 良一	山本 稔	居樹 豊	万代 哲央	山本 泰正	西中 純一	当瀬 万享
下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
農業集落排水施設設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
合併処理浄化槽設置整備条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成31年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成31年度地域開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成30年度一般会計補正予算(第5号)修正案	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
平成31年度一般会計予算修正案	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×

一部事務組合議会

近隣の市・町の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。

一部事務組合議会は、構成する市・町の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

平成31年2月5日開催

組 合 名	議 案 の 件 名	審議結果
和気老人ホーム組合 (和気町、備前市、赤磐市)	平成30年度和気老人ホーム組合会計補正予算（第3号）	原案可決
	平成31年度和気老人ホーム組合会計予算	原案可決
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合 (和気町、赤磐市)	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合施設整備基金条例の制定 について	原案可決
	平成30年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計補正予算 (第3号)	原案可決
	平成31年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計予算	原案可決
和気北部衛生施設組合 (和気町、備前市、赤磐市)	平成31年度和気北部衛生施設組合会計予算	原案可決
東備農業共済事務組合 (和気町、備前市、赤磐市)	岡山県市町村総合事務組合からの脱退について	原案可決
	平成30年度農作物（水稲）獣害防止施設設置助成金の交付に係る 農作物特別積立金の取崩しについて	原案可決
	平成30年度東備農業共済事務組合農業共済事業特別会計補正予算 (第3号)	原案可決

臨時議会

平成31年 第1回臨時会

平成31年3月1日開催

議会内の人事について協議。午後5時をもって閉会。

平成31年 第2回臨時会

平成31年3月7日開催

議長・副議長・組合議会議員選挙、委員会構成を決定。

次のような質疑と答弁がありました

平成30年度
一般会計
補正予算

自主防災活動支援補助金

西中純一議員

問 自主防災活動支援補助金50万円減は、どういうことか。

答 新田危機管理室長

自主防災活動補助金はハード事業とソフト事業があるが、当初8地区程度予定していたがハード1地区、ソフト4地区のみの申し込みであり、不用分の減額である。

出店支援補助金

西中純一議員

問 出店支援補助金当初予算が743万円から480万円減で260万円ほどになったのか。内訳は。

答 立石まち経営課長

出店支援補助金はローソン佐伯57万円、岡山珈琲館187万円、セブンイレブン和気インター店18万円である。

ハザードマップの修正

万代哲央議員

問 ハザードマップの修正とは何か。

答 新田危機管理室長

従前の土砂災害区域を、29年度より、より細かく、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害を及ぼす危険がある区域を土砂災害特別警戒区域として指定した。30年度は、調査を行った本荘小学校区と旧山田小学校区の住民に改訂したハザードマップを配付した。今後、32年度までかけて、県が公表したところから修正し、他小学校区の住民にも配付する。

防災士の育成

問 防災士育成の現状は。

答 新田危機管理室長

現在17名が防災士の資格を取得している。平成30年度は18名が講習を受ける予定である。受講料は6万920円。申請のみの場合8000円で、消防団の分団長経験者は講習免除、申請のみで資格が取れる。

宮田住宅の解体後の跡地の活用は

居樹 豊議員

問 解体後の跡地については、今後の移住、定住などの住宅政策のための町有地として活用していくのか。

答 南産業建設部長

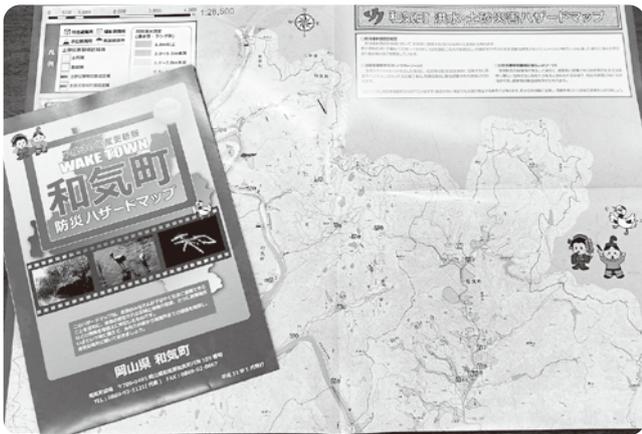
解体事業は、入居事情により発注が遅れ5月未完了の予定であり、解体後は現在のところ一般分譲する予定で検討しているところである。

りんご園の振興策は

問 特産物の生産安定化のため、テコ入れが必要ではないか。また、りんご酢の発売など検討しているかどうか。

答 西本事業課長

りんご園については、今後、専門の職員を配置し、運営の強化を図っていく考えである。



和気町防災ハザードマップ

平成30年度
特別会計
補正予算

介護保険特別会計
補正予算

介護給付の減額はなぜか

西中純一 議員

問 地域密着型介護給付費5300万円減、居宅介護サービス給付費も4700万円減の理由は。

答 桑野 介護保険課長

地域密着型介護サービス費は、グループホームの1事業所が休止したこととで、見込み額が減額したためである。また、居宅の方は、居宅サービスの給付費が当初の見込みより伸びなかったということである。

簡易水道事業特別会計
補正予算

配水管工事費減少の理由は

西中純一 議員

問 矢田市内の配水管工事起債が2750万円減少、これはなぜ減ったのか。

答 豊福 上下水道課長

矢田の工業団地の工事延期による。30年度に工事実施予定であったものを延期したことによる減額である。



工業団地予定地

条例

町営バス運行条例改正

試行運転の結果は反映されているか

山本 泰正 議員

問 今回の条例改正には、利用者や町民の要望は反映されているのか。

また、今議会で十分協議して改正すべきではないのか。

答 新田 危機管理室長

昨年9月議会で制定した町営バス運行条例だが、1月からの試行運転の結果と4月から備前市との相互運行バス実施のための改正で、今後も利用者の意見も聞きながら改正していきたい。

問 デマンドタクシー廃止による町民の意見・要望も多く聞いており議会での議論も十分反映し、3か月ごとに検討され改正していただきたい。

答 新田 危機管理室長

4月から本運行となり、本当の町民の意見が聞けるため、常に利用者の意見や地域の意見を聞

きながら柔軟に対応したい。

和気町下水道条例

下水道料値上げするか

西中純一 議員

問 消費税率のアップをやめたら元の料金に戻すのか。基本料1233円を1255円だから1.78%の値上げであるが、他の自治体も同様にしているのか。

答 豊福 上下水道課長

税率が上がらなかつたら値上げしないので9月議会で提案したい。



定時定路線バス

平成31年度
一般会計
予算

管理費へ地方債(借金)を充当するのは適正か

山本泰正 議員

問 りんご園の管理費へ地方債(借金)を充当した理由はなぜか。

答 立石まち経営課長

過疎計画の中でりんご園の管理委託経費が起債対象となり充当している。

問 通常の維持管理費を借金で補い、後年度へ負担を回す予算など到底考えられない。どのような考えか。

答 立石まち経営課長

過疎対策事業でりんご園の管理費も対象となり、償還金の70%が補助対象となることから、起債事業とした。

意見

通常の維持管理費を借金で賄うなど、通常考えられない。

過疎債の借入枠があるのであれば、他の事業に充当すべきであり、今後十分考慮願いたい。

新入生用就学援助費は

西中純一 議員

問 就学援助費が小学校は24万8000円、中学校は36万4000円出ているが、新入生について3月にお金を出してほしいとお願ひしていたが、どうなったか。

答 今田教育次長

小学校の就学援助24万8000円のうち、新入生児童の準備として、平成32年度入学の対象である今の5歳児10名分で計40万6000円。中学校では、10名で4万4000円を3月に支出予定にしている。平成30年度は、小学生6名、中学生6名を支出している。

空き家改修条例の制定は

問 空家改修50万円出しているが、空家条例をつくるのはどうなったか。

答 立石まち経営課長

改修は1件50万円、10件予定している。

答 南産業建設部長

条例策定を検討している。

31年度中に提案すべく準備している。

ドローンの具体的活用は

太田啓補 議員

問 機械器具購入費(30万円)の内訳とその活用策は。

答 立石まち経営課長

30万円の内訳は、ドローン購入費と予備のバッテリー、ケースなどである。職員4人が免許を取得しており、今後、災害時にはドローンの活用を考えている。

問 30万円程度で災害に活用できるドローンが購入できるのか。

答 新田危機管理室長

「ファントム4」という機種で、性能的には非常に優れている。解像度の高いカメラがついていて、災害時だけでなく空撮などにも使用できる。

路線バスの運行はどのようになるのか

問 町営バスの路線変更やバスの台数、運転手の

人数などを含めた運行計画はどのようになっていくのか。

答 新田危機管理室長

今回の計画は、スクールバスとあわせて直営方式で運行する、新しい取り組みである。スクールバスと福祉バスの計12台ある。地域の方々から意見をいただき、それを反映させたものを4月から実施する。

小学校の工事の予定は

万代 哲央 議員

問 小学校の工事の予定は。

答 今田教育次長

和気小学校体育館の外壁改修工事と本荘小学校体育館床の補修工事である。また、避難所用のトイレ改修として、2か所(和気小と本荘小)を予定している。

管理事務所の場所は

問 公共交通実施に伴い、管理事務所を設置するということだが、場所はどこか。

答 新田危機管理室長
駅前旧JA駐車場の跡地に計画している。

藤まつりの収入増は

居樹 豊 議員

問 藤公園の大型バス駐車料金については、応分の負担を検討してはどうか。また、今後入園料300円についても見直しを考へてもよいのではと考へている。

答 永宗 産業振興課長

今後の検討課題として考へさせていただきます。

計画書の周知は

問 和気町健康推進計画の概要版は予算的なものもあるが、各家庭に配布してはどうか。

答 則枝健康福祉課長

本推進計画は、健康増進、食育推進、自殺対策など一体的に行う計画で、4月1日からのスタートに向けて進めており、福祉医療機関での配布、『広報わけ』での周知を考へている。



和気町体育館

体育館管理費の内容は

山本 稔議員

問 体育館管理費の工事請負費3061万円の内容は。

答 山崎 社会教育課長
駐車場の舗装工事に2670万円、非常用放送設備39万9600円である。舗装工事はバスが入っても耐えられる舗装でお願いしている。

平成31年度
特別会計
予算

国保特別会計予算

特定健診の受診率
向上策は

西中純一議員

問 特定健診の審査委託料1331万2000円、これは1200人分で昨年と同じ人数だが、受診率はどうなるのか。目標はどうなるのか。受診できる医療機関は和気町か備前市だが、どうなるのか。

答 青山 民生福祉部長
1200人分で受診率は40%を見込んでいる。医療機関は町内と備前市である。受診対策では電話勧奨、パンフレット作成、受診勧奨はがき作成などである。

問 集団健診をやっているところもある。方法は。

答 青山 民生福祉部長
医療機関からの情報提供もやっていきたい。

J A岡山東が組合員健診をした場合、情報提供してほしいと町職員が受診場所まで出向き、本人

の同意をもらって結果を提供いただくことにも取り組んでいる。

駐車場事業

特別会計予算

和気駅前駐車場の
早期拡張は

居樹 豊議員

問 和気駅の操車場跡地と駅前交番跡地の用地取得はどうなっているのか。

答 草加町長
操車場の跡地についてはJRから価格提示も出ているが、別途補償費の問題が出ており、返答を待っていたらいて結論を出したいと考えている。

答 南 産業建設部長
駅前交番跡地については、JRと購入する方向で協議を進めており、契約の手続中で、まもなく締結買収する。

ごみ焼却施設解体事業
特別会計予算

益原地区内の水質検査は

太田 啓補議員

問 益原地区の人びとは、ダイオキシンなど有害物質に敏感になっている。水質検査の場所や頻度はどのようになっているのか。

答 岡本 生活環境課長
益原地内の井戸水検査を実施しており、飲用検査は10カ所、ダイオキシンや重金属の調査は4カ所で行っている。調査場所は地元と協議決定し、調査結果は基準値以内の数値である。

その他

物品購入契約

排水ポンプ車の
管理・使用方法は

太田 啓補議員

問 佐伯、塩田地区に設置する排水ポンプ車の管理や作動時の指揮命令系統は。

答 南 産業建設部長
佐伯庁舎と旧コンポスト倉庫に置き、通常管理(月1回程度)は職員が行う。実際の運転管理は、地元の自警団的組織にお願いしている。

問 指揮命令系統がはっきりしないが。

答 草加町長
当面は地元で自警団を設置していただくことを条件にしている。1カ月に1度は必ず試験運行をお願いしている。再度地元と詰めていこうと思う。

委員長報告

3月

和気町議会には、2つの常任委員会と2つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。

総務文教常任委員会

町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例

問 路線の周知徹底と利用者の要望を聞いて、路線の再検討を要望する。

答 検証に努め、改善すべきは改善する。

問 路線によつては小型車両の導入が必要か。

答 新たに小型車両購入は今、考えていない。

問 温泉利用者は無料ということだが、利用したかどうか確認方法は。

答 利用者間で不公平が生じないように、確認方法を再検討する。

一般会計予算

問 臨時職員数、町長部局が93人、教育委員会部局が114人、あわせて207人で、共済費と賃金あわせて2億2272万2000

0円であり、人数が多すぎる。財政を圧迫している。合理化を進めるべき。

答 温泉、クリーンセンター、生ごみ処理施設に多い。路線バス運転手も多く採用している。業務上の必要性を理解賜りたい。それ以外の部署は検討していく。

問 行政サービスの低下につながるような適正な合理化を望む。また、臨時職員も正規職員並みの待遇改善に努めてもらいたい。

答 平成32年4月より臨時職員の運用根拠が求められている。手当などの見直しもある。採用計画の見直しも予測される。

ドローン活用推進事業に関して

問 ドローン物流検証実験において、配送料は誰が負担するのか。

答 販売価格のみ利用者

負担で、配送料は町負担である。

問 ドローンの用途は。

答 買物難民解消に加え、橋梁など公共施設の点検。消防、防災面への活用。また、農業振興として農業散布にも活用と可能性は多岐にわたる。役場職員も操縦技術取得を目指す。行政サービスに努めたい。

問 ドローンの買物サポートは無理ではないか。

答 始まったばかりである。国は災害対応に力点をおいている。

問 町民はドローン活用のイメージが、買物支援だけになっている。

答 周知を図っていく。

問 火災の初期消火に有効である。カメラを使った消火活動の監視にも使える。

答 有効活用に努めたい。検討する。

問 業者選定は1者ではなく、複数の中から選定を願いたい。

答 協議会で検討することになるが、その旨は発言する。

問 町職員4人が講習済ということだが、受講費用は町負担か。

答 全額町負担である。

問 ドローンを購入する予定か。どう運用するのか。

答 購入に30万円計上している。災害時に活用したいと考えている。

問 協議会の議事録提出を求めたい。

答 提出する。

問 将来的に配送料100円

と資料にあるが。

答 配送料100円は、発生するかもしれない懸案事項として上げている。

その他

問 「学童保育」と「児童クラブ」が予算上混在している。文科省は「児童クラブ」に統一している。また、「子供」も予算書には「子ども」とあるが、文科省は「子供」に統一している。町の対応は。

答 検討する。

問 温泉と体育施設を会計上分けたメリットは。

答 温泉内の体育施設が社会教育課の管轄になったことで、温泉職員も社会教育課も互いにきめ細かくそれぞれ管理できるようになった。今の体制がよいと考えている。

厚生産業常任委員会

一般会計補正予算

問 健康増進委託料の増額の内容は。

答 75歳以上の健康診査で例年より多くの受診者があり、300人から320人の実績見込みによるものである。

国民健康保険
診療所特別会計
補正予算

問 塩田診療所の診療日数はどうなっているのか。

答 4月1日から診療を週2日から週1日に変更し、水曜日の午後2時から午後4時までに変更したい。

公共下水道事業

特別会計補正予算

問 測量中止の理由は。

答 支障移転測量設計委託料と支障移転工事費については、本地内の県道工事が中止になったことによるものである。

地域開発事業

特別会計補正予算

問 委託料が420万円残るのは何か。

答 ポーリング調査と家屋調査の委託料である。

下水道条例の一部を
改正する条例

問 下水道料金の上上げ率はどうなるのか。

答 基本料金で1.78%、超過料金については1.13%となりモデルケースとして毎月20㎡使用した場合、46円の上上げとなる。

下水道条例の一部を
改正する条例

問 一般家庭での平均使用量はいくら位になるか。

答 月20㎡を想定しており、41円となるので、下水道と合わせて87円となる。

一般会計予算

問 ごみの減量化の状況と灰の最終処分はどうなっているのか。

答 平成26年度から和気町で単独処理を行い、可燃物については減少傾向にある。各ステーションへはごみ収集をパッカー車で直営で行っている。なお、灰の処理については、全て外部委託しており、県外へ搬出している。

問 美しい森の施設管理はどうなっているか。

答 地元の美しい森管理

会に一括して委託している。

問 住宅管理費500万円で、町営住宅の入居者の修繕などの要望に対応できているのか。

答 町営住宅9団地での台所、トイレなど水回りのものが多く出されており、おおむね対応できていると把握している。

問 鹿やイノシシの対策は。

答 防護柵事業については、従来の補助制度が現在もあり、要件を満たす必要な箇所への助成措置を行っている。



宮田住宅

厚生産業常任委員会

国民健康保険

特別会計予算

問 保険料改定の動きと抑制のための方策は。

答 平成31年度については、現行のままで考えている。なお、特定健診率の向上など、町独自で取り組めるものについては努力しているところである。

公共下水道事業

特別会計予算

問 償還金の状況と今後の課題は。

答 償還金のピークは平成27年度で、現在は毎年減額しているところであるが、下水道管は償却年数40年といわれており、古いもので30年経過し、10年後ぐらいには取替など補修が必要になる。

駐車場事業
特別会計予算

問 一般駐車場の満車状態を緩和できないか。

答 これまでも定期駐車場の枠を少しずつ減らし運用してきている。



和気駅前駐車場

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

和気鵜飼谷温泉事業

特別会計補正予算

問 ヤクルト工場の視察、ドローン研修などによる利用増にもかかわらず、全体として収入減になっているのはなぜか。

答 昨年の台風によるキャンセルが大きく影響している。また、利用見込みも当初高く設定していたことから、結果として補正しているものである。

問 一般会計からの繰入金が増え、その原因について十分分析しないと今後問題になるのではないか。

答 開館当初から料金改正を行っていないことや、パート賃金のアップなどの要因もあるが、経営改善に努めていきたい。

和気鵜飼谷温泉の施設及び管理に関する条例の一部を改正する条例

問 料金改正の概要は何か。

答 利用料金については、これまで改定を行っていないことや人件費、材料費などの高騰によるものである。

問 施設の模様替えはどのようにしていく考えか。

答 当施設は平成7年11月オープン以来、ほとんど改修していない状況で建物も老朽化しており、できれば全体的に模様替えできたらと思っています。

和気鵜飼谷温泉事業
特別会計予算

問 燃料費については、ガスとA重油との経費比較も必要ではないか。

答 燃料費については、今後検討する余地はあると思う。



和気鵜飼谷温泉

防災都市公園整備事業特別委員会

一般会計補正予算

問 繰越明許費1億2600万円は、平成30年度になぜ執行できないのか。

答 9月定例会で予算計上して可決されたが、スケジューリング的に地権者との調整もあり、実設計委託もまだ発注できていない。繰越せざるを得なくなった。

問 繰越明許することの是非について、町長に問いたい。

答 繰越明許の一番の原因は、用地買収の件で2年にまたがると、所得税5000万円の基礎控除を受けられないことになりかねないためである。平成31年度予算と一緒にして用地買収をやらせて欲しい。

問 繰越明許して平成31年度で執行できるのか。

答 地権者の方に事業目的を理解していただけるよう精一杯努力する。

問 土地購入費の用地買収面積は4.7haか、それとも5.7haか。

答 平成30年度分が約1.0haで、31年度分が約4.7ha。あわせて約5.7ha分が全体の土地購入費である。

問 防災施設の費用は計上されていないのか。

答 平成31年度では計上していない。

問 5か年計画で20億円ということだが、防災施設だけの費用はいくらか。

答 概算で9800万円である。

問 防災都市公園をつくるには、防災施設が9800万円と土地購入費が3億4000万円とすれば、約4億4000万円ですくられるのではないか。

答 それに加え、造成費が必要である。

問 防災都市公園を考えた時、大体どれくらいの費用がかかるのか。

答 概算ではあるが、土地購入費と実施設計費で約5億円。造成工事が5億円。それに防災施設の9800万円が

加わってくる。

問 学校跡地検討委員会の答申書に「今後については利用者と協議を重ね、佐伯グラウンドの利用を促進しながら代替施設も検討願いたい」と書かれているのであつて、この答申で「代替施設をつくれ」とは言っていない。答申を受けて総合グラウンドの利用者と協議はしたのか。

答 役場内部でプロジェクトチームを立ち上げ、和気町を発展させるため、また、町民の健康と長寿を目指すため、公共施設10ha以上という要件に見合う益原を適地として、代替施設をつくるという計画を執行権の中で計画し、提案している状況である。

問 野球やサッカーといった各種団体や体育協会とは協議していないと理解した。町民の声をもつと聞くということか。

答 『広報わけ』にも記載しているとおり、5か年事業なので、既存のスポーツ施設とあわせて総合的な使い方ができるような計画していく。

一般質問

～町政をただす～

一般質問とは、和気町の行財政全般にわたって、執行機関に対して説明を求めたり、または所信をただしたりすることです。これにより、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にする目的があります。

一般質問は一問一答方式でおこなわれ、質問時間は質問・答弁を含め40分間です。

3月議会定例会には、9名が登壇し、町長・教育長・その他執行部の考えをたきました。

ページ
17

居樹 豊 議員

- 耳鼻科の早期開設を
- 矢田地内の排水対策を
- 中央公民館の建替え検討を

ページ
22

西中 純一 議員

- スクールバスへの混乗
赤磐市方面への増便
専門職の設置の対策は
- 矢田工業団地の進捗状況は
- 学校給食無償化、保育料完全無償化は
できないか

ページ
18

神崎 良一 議員

- 和気町が進めている事業の現状・今後は
- 和気町観光プログラムの趣旨は
- 和気閑谷高校の持続発展の具体策は

ページ
23

從野 勝 議員

- どうなる農作物直売所
- 交通弱者救済対策は

ページ
19

山本 稔 議員

- 町職員の人数は適正か
- 外国人労働者の対策は

ページ
24

山本 泰正 議員

- 町営バス運行のデメリット解消法は
- ハザードマップの浸水地域とは

ページ
20

太田 啓補 議員

- 子育て支援策の強化を
- 防災都市公園整備事業とは
- 場外舟券売場(ポートピア)の現状は

ページ
25

若旅 啓太 議員

- 行政も議会も変わるべきでは

ページ
21

万代 哲央 議員

- 防災都市公園、総合グラウンドを含め
見直しが必要である
- 野球場ありきの総合グラウンドは高すぎる
- 公募して検討委員会を立ち上げる必要あり

質問

耳鼻科の早期開設を

今後十分検討していきたい

答弁



居樹 豊 議員

問 町民ニーズの高い医療環境(耳鼻科の開設)の整備については、これまでも要望してきたが、進んでいるように見受けられない。
和気町のまち・ひと・しごと創生総合戦略にあるように、健やかに暮らしていきけるためのまちづくりの一環として是非とも必要と考えているがどうか。

答 則枝 健康福祉課長
平成29年11月に取りまとめた地方創生に関するアンケートによると、医

療環境は特に耳鼻科を希望する声が多かったという結果が出ている。
町として今後とも医師会を窓口民間病院に働きかけていく考えでいる。

問 耳鼻科については病院経営上、採算性の難しさは理解しているが、町民の医療福祉向上のための診療所の医師派遣と同様に町費を投入していく点では理解が得られるものと考え、医療提携について前向きに取り組んでいただきたい。

答 草加 町長
総合病院内に開設されれば良いが、行政が助成することについては問題もあるようで、十分検討しながら進めていきたい。

矢田地内の排水対策を

問 矢田地内の住民の声として、近隣の工場とも関係する排水対策についてどうなっているか。

答 西本 事業課長
矢田地内は低地でありこれまで吉井川の水位が上昇した場合、ゲートが閉まり周辺農地が浸水することがあった。
地元区長等とは現在、排水に関する協議を進めている。

工業団地の造成工事においては、調整池が必要で、排水対策を検討しており、排水路を西側水路に流した場合には、慎重に計画を進めていかなければならない。

答 稲山 副町長
安全安心のまちづくりとして、旧和気地域において順次排水機場の整備をしてきた。矢田地内においても地元区長とも協議をしながら万全な態勢をとっていききたい。
具体的な排水対策と

しては強制排水を考えているところである。



矢田地内

中央公民館の
建替え検討を

問 和気駅周辺のシンボルの一つである中央公民館は、利用頻度も高く貴重な施設ではあるが、建物・設備の老朽化が進んでいる。耐震の問題も含め、どのように考えているか。

答 山崎 社会教育課長
中央公民館は平成30年度において、自主講座50講座を開講し、年間約1万3000名の方に利用いただいております。その他各種会議などでも多くの方々にご利用いただいております。佐伯地域の学び館「サエスタ」と比べて、比較

的少人数での実践指導や地域のコミュニケーション活動に役立っており、教育文化のまちとして、今後も施設管理を適切に行い、円滑な運営に努めていきたい。
耐震診断の結果は、平均値よりやや低い強度となつているが、これらを含め、今後の課題としている。

答 徳永 教育長
町内には多くの社会教育施設があり、サエスタをはじめ他施設の活用も検討し、総合的に考えていく必要があると認識している。今後の社会教育のあり方とも関係して、くるので、教育委員会として也十分研究していきたい。



中央公民館

質問

和気町が進めている
事業の現状・今後は

社会情勢の変化や
住民ニーズの多様化等に
的確に対応
答弁



神崎 良一 議員

問 防災都市公園の進捗状況と来年度の計画は。

答 南産業建設部長

平成31年1月21日に全地権者28名に説明会を開設し、事業実施承諾書の提出を依頼した。今年度は用地を購入し、一部造成工事の着手を計画している。

問 この事業の経済効果は。

答 南産業建設部長

国土交通省の『大規模公園費用対効果分析手法

(48時間で270mmの降水)を想定し、最も深くなる浸水深さを示したもので、昨年7月豪雨が、その想定と同じ雨量であった。しかし、実際には特段の被害はなかった。

和気町観光プログラムの趣旨は

問 この事業の趣旨、目的は。

答 立石 まち経営課長

和気町の有する鵜飼谷温泉、片鉄口マン街道、三保高原スポーツ&リゾートなどの観光資源を活用し、健康体験メニューを組み合わせ、誘客を図り、交流人口を増やすことを目的とし、町民の方の健康づくりも取り組んでいく。

問 和気町の女性平均寿命が上位である要因は。

答 則枝 健康福祉課長

和気町の平均寿命は88.1歳と全国でもトップレベル。運動と一緒に続けられる仲間づくりやコミュニ

ニケーションをうまく行う女性の方が高い要因と分析している。

問 町民が健康になった場合の町財政への影響は。

答 則枝 健康福祉課長

和気町の平成28年度1人当たりの医療費は37万3000円で、岡山県同規模自治体と比較しても高い方。介護保険料も団塊の世代が高齢者となっており、今後膨らむ。高齢者が要介護状態になる要因として、衰弱、骨折、転倒が大きく影響している。健康を維持し、要介護状態とならないことが必要と考え、和気町健康づくり推進計画の策定に取り組んでいる。

和気閑谷高校の
持続発展の具体策は

問 20名程度の寄宿舎を創ってはどうか。

答 徳永 教育長

多くの予算、開設後の維持管理などで課題があり、現状では建設は考

ていない。

問 英語以外の学習支援の計画は。

答 徳永 教育長

外部支援職員の採用が必要となり、現状では考

問 防災都市公園を和気閑谷高校のサブグラウンドとしての計画は。

答 徳永 教育長

高校魅力化の一環として、女子硬式野球部の創部を含めて同校は検討している。女子硬式野球部のみならず、和気閑谷高校の他部も大いに利用していただけるものと考えている。



和気閑谷高校野球部

質問

町職員の人数は適正か

類似団体と比較して

ほぼ適正である

答弁



山本 稔 議員

問 合併時、職員数を200人から160人まで減らすと、いつていたそうだが、現在は合併時とは状況が変わってきている。国も働き方改革を進めているところであり、現在の職員の人数、各課の配置数などは適正に配置されているか。

答 竹中 総務部長

現在職員定数条例では、町長の事務部局の職員が123人、議会3人、選挙管理委員会3人、監査委員2人、農業委員会2人、

教育委員会84人の計217人と定めている。

これに対し、平成31年4月1日の職員数は、特別職3人を除くと195人の状況である。人口規模や産業構造が似通った類似団体との比較では、一般行政部門では20人程度少ない状況であり、逆に教育部門では20人程度多い状況である。

したがって、総数としては類似団体との比較でほぼ適正な状況と言えるが、町の人口が低減している現状やひっ迫する財政状況を踏まえると、職員の削減を含め、更なる行政改革を断行すべきこととは論をまたない。各課の配置職員数については、通常の業務量、

および新たに加わった業務、超過勤務の状況などを勘案しながら決定するとともに、おおむねすべての職員の面談を実施し、個々の配置の希望も聞きながら、適材適所を旨として人事を行っているとところである。

佐伯庁舎においては、事業課における事務事業は、住民などの要望・相談・申請などの窓口対応、上水道や道路などの点検・維持管理などを主に行っており、上水道・土木などに関する事務事業は、おおむね本庁舎で行っており、適正配置と思われる。

問 町長の考えはどうか。

答 草加 町長

職員への適正規模の問題は現在195名で、適材適所を十分検討しながら考えていきたい。

外国人労働者の対策は

問 近年、和気町でも外国人労働者が増えてきているが、相談窓口など、外国人労働者に対する対策は考えていないのか。

答 竹中 総務部長

現在外国人は永住者をのぞいて町内に163人が就労しており、増加している。指摘のとおり、外国人労働者の受け入れを拡大するための改正入管法が施行されることになり、今まで認められていなかった介護業、農業、漁業、飲食業、製造業などの労働力も含め、14業種が新たに加わるもので、我が国の労働力が補われることが期待される。

一方で、受

け入れ側の自治体においても、多文化共生社会の実現に向けて理解・準備が必要で、専門窓口の設置も時機を得た提言と受け止めている。所管の住民課やまち経営課などと連携し、また、国際交流民間団体の支援を受けながら、態勢づくりに遅滞なく取り組みたい。



和気町国際交流協会

質問

子育て支援策の強化を

質の高い幼児教育、

保育を目指す

答弁



太田 啓補 議員

問 共働きの子育て世代への支援策が求められているのでは。今年10月から、一部保育料が無料になる予定だが、働ける環境づくりが第1である。

①にここに園で、待機児童はいないか。保育士の人数は足りているのか、また安定した人材確保の施策は。

②幼・保一体型のここに園のメリットとデメリットは。

答 今田 教育次長

①待機児童は現在、0歳児で4人いる。保育士

の確保も厳しい状況だ。②園の統廃合により職員の仕事量が増え、事務が煩雑化している。また、園における幼・保席が混在していることから、それぞれの職員間での共通理解が進まず、業務連携ができていないケースが見受けられた。

今後、個別面談を通して現状把握を行うとともに、園における職場環境の改善に努め、質の高い幼児教育、保育を目指していく。

問 共働きの親にとって、子どもの放課後の過ごし方が問題である。

①補助事業である放課後児童クラブの運営形態とその充実策

②子どもの事故や人権の確保、支援員の確保を含めた労働条件はどのようなになっているのか。

答 今田 教育次長

①各児童クラブにおいて運営委員会を設置・実施している。

②支援員の採用や経理事務など、役員に負担がかかっていることから、来年度は正職員を児童クラブ支援職員として各クラブの運営支援を行っていく。

問 そもそも防災都市公園に名をかりた野球場、運動場の建設というのが本質ではないか。町民が望んでいる事業なのか疑問である。佐伯グラウンドを整備し、同時に環太平洋大学と協議しグラウンドを使わせていただくことで十分スポーツ愛好者の方々に満足をしていただける。

防災都市公園整備事業とは

①防災都市公園の基本構想

②町民の問題意識について、どう考えているのか。

答 南 産業建設部長

①基本計画の内容については、いろいろなスポーツができる総合運動公園を整備するもの、また防災、災害時には防災の拠点施設として様々な効果、機能を有した施設をつくるものである。

②町政懇談会や区長会などにおいて事業計画を周知・説明しており、一定の説明責任を果たしていると考えているが、今後、町の広報誌やホームページなどで町民の皆様へ周知していく。

場外舟券売場(ボートピア)の現状は

問 和気町本に場外舟券売場(ボートピア)建設計画があると聞いている。①ギャンブルによる利益

もつといえれば人の不幸を前提にした利益を成長戦略の柱に据えて地域振興に活用する発想自体に違和感を覚えるが、和気町としての基本的な考え方はどうか。

答 立石 まち経営課長

①地元である本区では賛成多数の報告を受けているが、町としての判断はまだしていない。

答 草加 町長

地元の意向を重視する。事業者から私の方へはまだ何ら話がない。したがって町長として意見書を出すとか、同意書を出すとかということについての判断は、まだしていない。



ボートピア予定地

質問

防災公園、総合グラウンドを含め見直しが必要である

総合グラウンドを整備して町の活性化につなげたい

答弁



万代 哲央 議員

問 町民の多くの方々から支持されていないとわかっていながら、また、人口減少、野球人口減少の昨今でありながら、執行部は野球場ありきの総合グラウンド建設にかたくなにこだわり続け、全く見直そうとしないのはどうしてか。

答 南産業建設部長 廃校となった旧石生小学校の施設と無償貸与した総合グラウンドの代替施設ということで、野球場専用の球場ではなく、

野球場ありきの総合グラウンドは高すぎる

問 野球場ありきの総合グラウンドは費用が高すぎる。町の財政規模を考えると事業費が高すぎる。維持管理費も高くつく。借金までしてつくる効果が期待できない。最少の費用で最大の効果が生まれるよう目指すことが大切ではないか。野球場ありきの総合グラウンドを見直すべきだと町民の多くが言っている。公園づくりの原点に戻って見直す約束を執行部はするのか。

答 南産業建設部長 6 haの用地購入費と補償費、水路の移設、水道下水道管の移設、造成費用、土留めの擁壁、そして防災設備などで概算10億円である。また、主目的である総合運動公園、多目的広場、駐車場整備などの概算で10億円と今のところ考えている。

答 草加町長 町の発展を考えた時、町の中心になるあの場所に総合グラウンドを整備して町の活性化につなげていきたい。野球のできるグラウンドで外野が100mぐらいはとれる。そういうグラウンドであれば多目的に使える。

問 町民本位の公園をつくるには、町民の声を反映する必要がある。公園の内容を決める検討委員会の立ち上げが必要だ。執行部はどう考えるか。

公募して検討委員会を立ち上げる必要あり

県の東部で和気町は中心である。交流人口を増やして、経済効果を生む。また、町民の長寿と健康を目指すまちづくりのためにも、社会体育に前向きに取り組んでいきたい。

意見

答 草加町長 早急に諮問委員会の設置にむけて、協議したい。

①公募方式で検討委員を選考して組織を立ち上げること。

②用地買収に間に合うよう期限を設定して可能な限り検討委員会を開催すること。

③野球もできる総合グラウンド建設という計画自体を白紙に戻して、公園の中身の施設を委員会決定すること。

④総事業費の上限を委員会設定すること。

以上を執行部が忠実に遵守するのであれば、今後この事業に関し、継続協議に応じていきたい旨を申しした。

答 草加町長 諮問委員会的組織を立ち上げて、意向を反映させる。

問 私は検討委員会の立ち上げにおいては、公募して、選考基準も定めて委員を決定することを提案したい。年齢層のバランスを考慮して委員を決めることが大切だ。

質問

スクールバスへの混乗、赤磐市方面への増便、専門職設置の対策は

PTAの理解が得られない和気駅中心の活性化を第一に考える必要がある

答弁



西中 純一 議員

問 以前のデマンドタクシーでは短時間で移動できたのに今度のバスだと病院へ行って帰ると一日仕事になる方がいる。混乗できないか。赤磐市の下市や周匝への便はできないかなど、さまざまな意見がある。

答 新田 危機管理室長

スクールバスへの一般の混乗については地域からも要望はあるが、PTAの説明会では子どもの教育への影響なども考慮し、混乗は断念している。保護者の理解を得るよう努

力しているが、現状は困難だ。

赤磐市への乗り入れは、今回は備前市片上へは備前緑陽高校と和気閑谷高校があり、双方から2往復ずつ乗り入れ、吉永病院へは和気町単独で乗り入れている。赤磐市へは広域路線バスが周匝まで運行し、熊山便が朝夕2便ある。

今回の定時定路線バスは、町民の利便性と和気駅を拠点とした町内の公共交通体系再編をキーワードにしている。増車や交通専門係の設置は、他事業とのバランスや財政的な問題もある。

矢田工業団地の

進捗状況は

問 29年度には3億円程度で設計する計画があったが、結局うまく進まなかった。31年度から進むのかと思っていたが、自転車道や県の水道の移動は問題なかったが、調整池を2800㎡で計画しており、地元の県民局はそれであるとなっていたものが、原案のままでは県の本庁舎が8000㎡の調整池が必要との最終回答があった。そこで町としては調整池も違う方向へ、自転車道も水道も変更なしでやるとのことだが、これではうまくいっても平成32年度の工事開始となる。設計業者のマネジメントはよかったのか、疑問もある。



矢田工業団地予定地

答 西本 事業課長

全員協議会で申し上げた通り、水道企業団との水道管移設協議や交差点協議、自転車道協議など、様々な協議を岡山県各部署と進めて来た。調整池以外の各協議については了承を得られた。調整池については、最終設計において河川管理者の了承も得ていたところであるが、県の開発担当部局においては原案ではよくないと回答があった。現在、町としては費用をかけず投資効果が見込める計画を再度作成している。

学校給食無償化、保育料完全無償化はできないか

問 兵庫県相生市では、学校給食を無償化し、現在もやっていると思われる。消費税アップと同時に3歳から5歳までの保育料を無償化しようとしているが、給食費は自己負担と言っているようだ。要望としてはすべて無償化だ。

答 今田 教育次長

学校給食費を小中学校とも無償化している自治体は76で、71の自治体が町村であり、1万人未満の自治体が56である。無償化により子育て世帯の経済的負担が軽減でき、また、給食費の集金業務がなくなることで教職員負担が減る利点がある。平成29年度学校給食費の決算で、3カ所の共同調理場など合わせて保護者負担は6100万円になる。また、10月実施の幼児教育無償化では、3歳から5歳の給食費は無償化の対象外である。幼稚園籍の方の給食費については、月額約5200円徴収しているが、保育園籍の方は保育料に含まれており、保育料が5200円未満の方は給食費との差額が負担増となる可能性がある。



佐伯にこにこ園

質問

どうなる

農産物直売所

公設、民営で実施したい

答弁



從野 勝 議員

問 平成27年11月、岩戸田土地区内を中心に、地域農業の振興、地域情勢の発信、観光などに寄与し、地域住民の触れ合いの拠点施設として、農産物直売所、道の駅を建設してはと、佐伯庁舎の担当課長より河本地区住民に話があった。

地元としては、小学校が閉校し寂れる地区に再び明るい兆しが見えてきたと全員賛同した。この道の駅を佐伯地域全体の活性化の拠点と位置づけ

て、みんなが集う場所として活用していきたい。幸い和気町には、都会からの移住者が多数おられる。長年田舎で暮らしている者とは違って、都会目線で道の駅を見ていただける。この方々にも

経営に参加してもらいたい。道の駅に色々なブースを作り、テナントで、ピザ、コーヒーなどのブースを運営してもらい、地元の負担を少なくする。あわせて移住者の皆さんが集まれる拠点としても使う。農産物においても佐伯地域には、非常に良い物がたくさんあり、ぶどう、白ネギ、ナスなどの特産品がある。

答 永宗 産業振興課長
施設は公設民営で、民間組織、団体による運営を前提としている。この施設がどのような特色を持つのか、何を目玉にして集客を図るかなど、施設のコンセプト・方針を

絞り込まなければ、施設の規模やレイアウトなどの検討段階に進めないものと考えている。

問 平成30年10月の区長会での町長の発言以降の対応は。

答 永宗 産業振興課長
地域の農産物などの販売のみではなく、コンビニをはじめとする既存事業者、あるいは新規参入企業者などの複合施設としての検討も必要と考えている。

問 最初に話が出てから、早や4年が過ぎた。行政より話があったわけなので、行政というのはいくら町長が変わろうとも継

続するのが本来の姿ではないか。

答 永宗 産業振興課長
ご指摘のとおりであり4年近くが経過している。施設整備に向けてのプロジェクトを組織し、担当を越えて早期に検討できるよう指示をもらっている。できるだけ構成メンバーを明確にし、確実に前に進めるよう組織を立ち上げ、我々にわからない点は専門家のアドバイスを受けて、とにかく前にスタートを切ることが肝心と思っている。その思いを持って取り組んでいきたい。

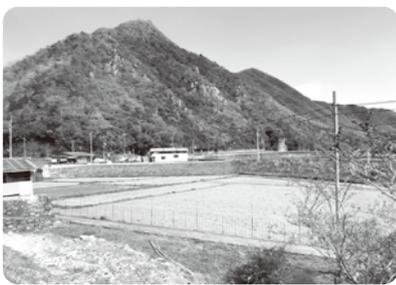
交通弱者の救済対策は

問 町営バスの運行について、運行経路が利用者の利便性を十分考慮しているか。利用者数を見ると十分と思えないが。

答 新田 危機管理室長
運行経路については、現在の試験運行の路線を検討する上でも地域の方の声を聞いて設定した。

問 山間部の集落道を走れる小型の車両の導入は。

答 新田 危機管理室長
小型の車両を導入し車両を増車ということになれば、財政的な負担が生じる。すぐに小型化というのは難しい面があるが、今後、車両の更新や増車の必要性が生じた際には、小型車両の導入も検討したい。



道の駅予定地

質問
町営バス運行の
デメリット解消法は

町民や議会の声を

聴きながら対応したい

答弁



山本 泰正 議員

問 町営バス運行については、備前市片上への相互乗り入れ・吉永病院への乗り入れなど大いに評価している。

新規事業の展開には、メリットとデメリットがつきものだ。私はデメリットの解消に向け質問したい。まず、町営バスの停留所まで遠距離者の取り扱いはどうなるのか。また、停留所の増設は考えられないか。

答 新田 危機管理室長
町営バス路線は、でき

デマンドタクシーの借上げ料・予約システムやオペレーターの必要経費も莫大で、定時定路線バスとの併用は財政的に厳しい状況だ。

問 定時定路線バスは時間定まっているが早朝便がなく、病院へ通院する者にとっては、帰りの便が昼便には間に合わず1日仕事になってしまつて、週1回でも2回でも、スクールバス運行前に1便運行できないか。

答 新田 危機管理室長
スクールバス運行は7時18分からのスタートのため、それ以前の運行は考えられない。バス運行はこれで完成ではないので、今後利用者の意見・要望を聞きながら進めていきたい。

意見
デマンドタクシーの廃止は、一部の交通弱者から不安の声がある。デマンドタクシー発足当時の交通弱者対策の観点に立ち戻り考慮するよ

う強く要請した。



定時定路線バス

ハザードマップの
浸水地域とは

問 『広報わけ』の紙面を使い、「和気町防災都市公園構想」と銘打った防災都市公園計画地が、2mから5mの浸水地域になっているが、これは100年から150年に1度程度起きる大雨を想定し、堤防が決壊した最悪の場合を想定したものであり、河川整備が進んだ近年、問題ないとされている。ハザードマップの意義と計画地域が問題ないと表現の根拠は。

答 南 産業建設部長
ハザードマップとは、災害の危険度を地図上に表したもので、地域における災害に対する備えの強化、住民の災害時の避難や危険回避など、自主行動の支援を目的としている。

防災都市公園構想の中で、浸水想定区域に問題ないとの表現については、国土交通省の基本方針で、100年から150年に1度の確率の大雨は、48時間雨量で270mmと想定しており、昨年7月豪雨では275mmの雨量に対しても問題がなかったとの表現だ。

意見
町民の安心安全をイメージした防災都市公園事業を、野球場やグラウンドを整備するための議論づけではなく、真の町民の安心安全を守ろうとするなら、旧小学校区ごとの防災施設・避難施設の整備が急務であり、善良な町民の願いであること強く要請した。

質問

行政も議会も

変わるべきでは

町の発展のために

切磋琢磨していききたい

答弁



若旅 啓太 議員

問 防災都市公園事業がここまでこじれてしまった問題の本質は、町民への適時適切な情報発信を怠った危機管理意識の低さと初動のミス。この体質こそがこの問題の本質だ。今までの経緯を包み隠さず正々堂々と町民に最初から説明していれば、このような事態にはならなかった。

私は9月議会で可決されてから、この防災都市公園の経緯の全てを200人以上の町民に説明し続けた。するとみんな理解を示してくださったが、そこでほぼ全員から返ってくる反応は「そんなこと誰も知らないぞ」だった。そこに問題の本質があると私は現場で感じた。情報発信は限られた人だけでなく、全町民に向けて、その姿勢が必要だ。私が12月議会で「全町民に向けて『広報わけ』で防災都市公園の説明をしてほしい」と要望し、その通りにやっていただけたのは有難いが、本来最初からやるべきことだ。この町では、事実と異なる情報が情けないくらいに出回っている。そのスキを与えてしまっているのも行政自身だ。これから和気町は色々な政策を打っていく必要がある

が、その度にこんなこじれていたら未来に対する責任は果たせない。町民は強制的に税金を納めなくてはならない。株主である町民に理解してもらおうのは当然のことだ。デマやフェイクニュースが流れないよう、危機管理意識をしっかりと持ってもらいたい。

答 草加町長
さまざまな媒体を使い情報発信をしてきたが、十分ではなかった。これからは説明していききたい。

問 3月12日、全国町村議長会から40年ぶりに新しい議員報酬の方向性が示された。今までは議員報酬は首長の30%に固定するもので、新しい方向性は首長と議員の活動日数のパーセンテージ比較だった。つまり、町民のために頑張っている議会に報酬を上げなさい。サポートしている議会は下げなさい。ということだ。

2月の選挙に出たいと言っていた方々を2人

知っている。40代と50代の方だ。その方々が出馬を断念した理由は「議員報酬では家族を養っていけない」というものだ。

和気町議会議員の報酬は手取りで17万円ほどである。そもそも議会というのとは様々な年齢、ジェンダー、あらゆる層の住民が直接政治に、安心して参加できる環境が担保されていないかならぬ。イギリスから始まる議会制民主主義の歴史から紐解いても間違いなくそう。

私は防災都市公園で行政を問うたが、この件では議会が問われている。今の議員報酬は町長の30%であり、今のままで据え置くということとは、町長の30日の活動日数で議員は年間90日しか働いていないと自分たちで表明していることになる。月に8日ほどしか働いていない計算になる。「何でもいから報酬を上げろ！」と私は言いたいのではない。町民に認めても

●主な市町村の議員報酬

市町村名	月額報酬
和気町	234,000円
岡山市	710,000円
備前市	355,000円
瀬戸内市	350,000円
赤磐市	350,000円
美作市	320,000円

答 草加町長
町の発展のため、切磋琢磨しながら、憲法で守られた地方自治を全うしていききたい。



町民の笑顔で議会だよりを飾ってみませんか？

表紙写真募集中！

和気町議会では、「わけ議会だより」を年4回発行し、議会定例会についてお知らせしています。皆様に親しまれる「議会だより」を目指し、次回の「わけ議会だより53号」（7月25日発行予定）の表紙を募集いたします。たくさんのご応募をおまちしています。

- 応募写真：町民の笑顔、イベントや行事など、発行月（7月）に応じた写真
- 応募資格：和気町在住、在勤、在学の方
- 応募規定：
 - ・縦撮りの画像データ（jpeg方式）。A4全面サイズの印刷に適した画素数のもの。
 - ・応募者自身が撮影した未発表のオリジナル写真に限ります。
 - ・明らかに人物が特定される場合は、撮影者をご本人の了承を必ず得てください。
 - ・応募写真は無償で和気町議会が使用することを承諾したものとします。
 - ・応募は1人1写真とします。応募いただいたデータは返却いたしません。
 - ・編集の都合上、トリミングやレタッチを行う場合がありますのでご了承ください。

- 応募方法：郵送、持参、または電子メール（10MB以下）で応募してください。

〒709-0495 和気町尺所555 和気町役場 議会事務局「表紙」係

E-mail : gikai@town.wake.lg.jp

記載事項： 任意の様式に、住所・氏名・連絡先・
撮影場所・撮影年月日・写真の説明

- 審査方法：和気町議会 広報編集委員会で審査します。
- 応募締切：令和元年7月1日（月）まで
- その他：採用した写真は、次号「議会だより」表紙に採用するとともに、採用された方を紙面で紹介させていただき、和気町PRグッズを差し上げます。

52号 表紙写真

「ボールをつないで 絆の輪！」

撮影者：枝本 実紀（和気町田原上）

撮影場所：高知県桂浜

コメント：佐伯スポーツ少年団と和気スポーツ少年団のバレーボール男子6人で、高知県で開催されるアンパンマンカップ（四国近県交歓小学生バレーボール大会）に出場しました。スポーツを通して絆が生まれ、心に残る思い出をつくることができました。

編集後記

広報編集委員長に就任しました若旅啓太です。

改元まであと少しとなりました。「令和」の典拠となっている万葉集は、天皇陛下から庶民まで幅広い層が読んだ歌がまとめられた日本最古の歌集です。すべての人々にとって、調和と安寧に満ち溢れた時代となることを心から願っています。

また、新しい時代に向けて『わけ議会だより』のリニューアルを予定しています。議会と皆様を繋ぐこの媒体をより多くの方に読んでいただけるよう、編集委員一同精進して参ります。

最後に皆様の御多幸と御健勝お祈り申し上げて結びの言葉とさせていただきます。今後とも宜しく願っています。

委員長 若旅 啓太
副委員長 山本 稔
委員 西中 純一
神崎 良一
太田 啓補
尾崎 智美

